



VEC 2012

「VEC関西 今年の10大ニュース」



時の経つのは 早いですねえー 今年も10大ニュース！
担当の私の出番です。

野田総理の評判が上がらず、内閣支持率も20%を割る最悪の
状況で、とうとう解散総選挙。慌しい年末です。

最大の野田内閣の失敗は、尖閣列島の国有化でしょうか？

結果的には本音か芝居か解りませんが、グレート中国を怒ら
してしまい、わが国の風当たりは厳しさを増しています。中国
進出でこの不況を脱却しようと頑張っていた企業は大変です。
さて、VECの今年のおさらいは

1. VECは平成24年4月に一般財団法人に移行し新たな出発し
ました。其れを記念して東京新丸ビルで新発足記念式典を
開催し多数のご参加をいただきました。VEC本部もご苦労
様でした。
2. 関西支部交流会は毎回30-40名のご参加を得て本年は10回
開催しています。また、来年一月号で「てんこもり」発刊
100号を迎えます。
ちょっとした思い付きで、始めたのですが、執筆者の方々、
編集、企画の方々、本当にご苦労様です。
3. 毎年恒例の新年交流会、VEC関西の企画委員を長年お願い
していました株式会社ニプロンの酒井社長からベンチャー
経営について熱く語っていただきました。
4. 京都女子大学の現代社会学部の学生さんと我々ベンチャー
の経営者が一堂に集い、企業経営に関するディスカッショ
ンを行いました。鋭い質問にベテランの筈の我々も大変緊
張しました。
5. VEC会員限定の交流会を、重要文化財の綿業会館で行いま
した。みずほ総合研究所関西支社から、人材育成のあり方
に関し、いろいろお話をいただきました。目からうろこの
話でした。

6. 情報化時代を受けて、今年他ベンチャー支援機関とも
交流を推進しました。商工会議所や大阪府・市外郭団体(促
進協、IAG、OWEN など)、ベンチャーコミュニティ、島
屋ビジネスインキュベータ、ATAC、日本一明るい経済新
聞社、京都市リサーチパーク、などです。いい勉強になりま
した。今後もよろしくお願いします。
7. VEC関西交流会で講演を頂くなり、惜しみないご協力いた
だいている、京都女子大学の西尾久美子准教授が人材育成
の観点から、「舞子の言葉」を発刊されました。別世界な
がら育成プログラムのすばらしさが伺えます。
8. すばらしい可能性を秘めるミャンマーから通訳、ガイドを
しておられるカインさんがVEC関西にこられました。ミヤ
ンマーの発展を祈ります。
9. 昨年、企業OBを中心に「シニアベンチャークルー」が発
足しました。
メンバー一同、活動プログラムを立案しています。いいア
イデアを募集中です。
10. 数年前から、関西支部のサロン化を実施しています。
ベンチャーの相談事や近畿経産局、大阪府、市の支援プロ
グラムの紹介、人材の紹介など様々な相談が来るようにな
りました。ベンチャーのお役に立てたいと、頑張っています。

年末になって、米欧中の政治経済、が一段と騒がしくなっ
てきました。つまり、いよいよ乱流社会に突入です。来年は大
きな戦争が起こらないよう祈ります。

「てんこもり」ご愛読の皆様、いい年をお迎えください。

(一財) ベンチャーエンタープライズセンター
理事・関西支部長 本田英行

～「死の谷 (デスバレー)」という言葉をお聞きになったこと
があるでしょうか。～

これは、米国連邦議会、会員科学委員会副委員長のバー
ン・エーラーズ (Vernon J.Ehlers) のことばで、基礎研究が資
金不足などにより応用研究から事業化に進むことができず、技
術が埋もれてしまうことを指しています。

死の谷は研究開発の技術分野だけではなく、ベンチャーのビ
ジネスモデルの事業化にも当てはまります。

その死の谷は、砂漠のように不毛なところで、橋を架けるか
飛び越えるしかないので。しかし現実には、研究者・技術者や
ベンチャーが乗り越えられないで苦しんだり、挫折したり、
その障壁を超える努力が大きな負担となり会社の存在を脅かし
たり、廃業するなど多くの現場に遭遇します。

中小企業やベンチャーが、そのアントレプレナーシップを発
揮してイノベーションを起こそうとしているときに、「資金の
問題が必ず起こる」、「技術課題が次々と出現しその解決がで
きない」、「事業化がそこまで見えているのに製品化できな
い」など、果敢にチャレンジするが谷底に吸い込まれていくよ
うに苦悩しています。

中小企業やベンチャーを見ていると、「市場の本質的なニー

ズを把握していない」、「独自技術の自己満足で客観的な視点が
不足している」、「技術課題解決のための多様な連携や企業との
出会いが欠けている」、「資金調達・設備投資・研究開発の精緻
な計画を立てていない」、「原価管理の仕組みがない」、「コス
ト低減のノウハウが不足している」などの問題を感じます。

その克服には、「発想を転換してみる」、「俯瞰的な思考を身
につける」、「信頼できるパートナーシップをつくる」、「技術
課題解決のために頻繁に顔を見てコミュニケーションを交わ
す」、「情報の共有のためにオープンな体制をつくる」、「幅広
い専門家のネットワークを構築する」などが必要だと思います。

死の谷を乗り越えた後には、広い荒れた海原に多くのサメが
うようよいて、生存競争が激しい「ダーウィン海」が待ち構え
ています。

中小企業やベンチャーがイノベーションを発揮して生き残る
には、成功するノウハウと失敗しないためノウハウが重要なよ
うです。

独) 中小企業基盤整備機構 近畿本部
統括プロジェクトマネージャー 橋本 豊嗣

一点突破の気概

なぜ起業したか

- エルダーシニアの私が主宰するNPOシニアネット総研は、設立2年目を迎えた。願れば慌しくも忙しい1年間だった。燃えたぎるような設立時の模様を今も鮮明に覚えている。仕事力と情熱と成果は正比例すると言うから、これからの正念場、まさしく手を抜くことは許されない。
- そんなおり、心のよりどころになった感動プロデューサー平野秀典さんの言葉を紹介しておこう。「小さな一点の変化が全体の変化を促す。仕事や生活にある「一点突破」のツボ。
一点、一瞬、一歩、一言、ひと筆、ひと味のわずかな違い、それは誰にでも出来て誰もがやっていない事。大きなことを起こす切っ掛けは、あなたの心の内側にある、ほんの1%の自分革命」
- シニアネット総研は、戦後昭和の輝かしい成功体験を持つ日本のシニアのために、世代間交流の情報ネットワークを構築し、日本社会が本来持つ伝統的な美徳を引き出すために鋭意、設立したと言っている。

日本のシニア3500万人

- 廃墟の中から再興した戦後の日本は、激動の歴史的過程を経て高度成長による奇跡的な復興を果たし、世界経済の主役に躍り出た。そして戦後68年の今、日本の発展に限りなく貢献した戦後生まれの団塊世代700万人が定年を迎えシニア総数は3千500万人を数える。そして日本は今、初めて経験する高齢化の波にさらされようとしている。
- しかし今、成熟化現象といえる様々なひずみが続出し、多くの弊害が目立つようになってきた。特に戦争を知らない平成世代の台頭は、国の威信や存立さえも脅かそうとしている。そして日増しに昭和の風化が進む。
・日本人の誇り、自立意識の欠如（戦後教育のひずみ） ・北方領土や竹島など領土問題と国防意識の欠如 ・敬老意識の欠如と、伝統的な日本の家庭形態の崩壊 ・社会奉仕や社会貢献意識の欠如 ・依存主義や先送り、自己中心主義の台頭など。

問われるシニアの責務

- これらの弊害が是正されない限り、日本はやがて活力と信頼を失い、必ず衰退の道をたどると多くの識者は警告を発している。改めて「戦後昭和」の検証と、世界の中で日本の果たすべき役割について「戦後昭和」の体験者であるシニアの発言と前向きな行動が今、真摯に求められている。それだけに3500万人を越す日本のシニアの動向は、激動する日本の経済社会の命運を左右するといわれる所以だ。
改めて問われるシニアの課題とは ・日本のシニアは、どうあるべきか。 ・日本のシニアは、どう社会貢献すべきか。

シニア究極の課題

ところで今、私たちシニア究極の課題は景気の回復と政治の変革だ。

- まず景気だが、いま経済を回復させるための日本の活路は、高齢化に見合う需要をいかに掘り起こすかに尽きると言われる。俗にシニア市場は100兆円と言われ、医療、介護、教育、環境にあつ注目が集まる。特に「シニアの就活、働活、習活、婚活、健活、旅活、味活、生活、援活、老活、終活」など、あくまでこれは造語の極みだが、シニアの生活周辺に貴重な消費が潜在していると言われ、企業間競争も熾烈を極める。
- 次に政治だが、日本の明日を決める待望の総選挙が迫ってきた。日本の全有権者数1億4500万票に対して、シニアの3500万票が日本の命運を決める。価値ある一票を行使いただくようお願いしたい。

終わりに

- 経済的にも、財政的にも、政治的にも、いま大きく変わらなければ、日本の将来はないといわれる。どうあれ、シニアだから安閑と余生を暮らせる時代ではなくなってきた。
日本のシニアに、生涯現役の気概と晩学の気風が求められる所以だ。それだけに情報は、シニアにとって生活するための貴重な糧となる。また、シニアにとって一番の仕事は、自分の経験をいかに若い世代に伝え、次世代とどう関わり、ネットワークするかが求められる事になる。
- そこでSN総研では、シニアのための情報ネットワークを構築してシニアのための情報交流と世代間交流を積極的に推進し、まずは都会派シニアのニーズと期待に添えていきたいと考えている。
改めてVECの皆さんのご支援と協働をお願いしたい。



Official Website <http://blog.goo.ne.jp/snijapan>

山田 清之

NPO法人 シニアネット総研（総称SN総研）CEO

NPO法人 日タイ国際交流推進機構（総称JTIRO）代表理事

～来年の主な税制改正です～

平成25年1月1日以後に適用される所得税等の主な改正事項を「クラージュ ビジネスニュース」から抜粋しました。改正により消費マインドに影響が出ない事を祈り、可処分所得の高い方々の購買力パワーアップを期待します。

<所得税について>

- ① 平成25年分以降の給与所得控除額に上限
・平成25年分の給与収入が1500万円を超える場合、給与所得控除額に245万円の上限が設けられました。
・従来は1500万円を超えても超過額の5%を控除できました。
- ② 平成25年分以降の退職所得課税の課税強化
・役員としての勤続年数が5年以下（1年に満たない端数があるときは、1年に切り上げ）の役員退職金は2分の1課税の適用ができなくなります。
- ③ 平成25年1月1日以降支払の給与等・報酬等から「復興特別所得税」を源泉徴収
適用時期：平成25年から平成49年までの25年間
課税標準：基準所得税額＝その年分の全ての所得に対する所得税額
税額計算：基準所得税額×2.1%

<消費税等について>～増税時代が到来するのか～

平成26年4月から消費税増税も予定されています。今後、所得税最高税率の引上げや相続税基礎控除の引下げ等の増税も検討されているそうです。さらに詳しい内容をお知りになりたい方はVEC経由でクラージュ総合会計事務所へ。



VECレポーターが行く!!

～劇場型がテーマの阪急百貨店うめだ本店・全面開業!

「7年間に及ぶ建て替え工事がほぼ完了し11月21日全面開業となり、売り場面積は従来比3割増の8万平方メートルもあるらしく、西日本全域からの集客を目指すとのこと」

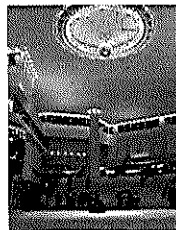
そこでいつもの好奇心を持ってオープン日に人・人・人でいっぱい店内へ潜入!

「サプライズは“祝祭広場”というネーミングの9階から4階の大きな吹き抜け広場。

10月の先行開業日にはアカペラのコンサート開演とフロアーにはアルファロメオやマセラッティなどの高級スポーツカーがずらり。情報発信空間から集客力を高めるのが狙いらしく、開業当日にはスイスの“フランク ミュラー”時計が900万円以上の超高級品も展示されていた。「先行開業から全面開業までの4週間の来店客数は400万人に達したとのこと、ターゲットはやはり女性客。男性が期待されてないのが、ちょっと寂しい」

「来春にはJR大阪駅北側に再開発ビル群“グランフロント大阪”も開業予定で、世界初のターミナルデパートを開業された小林一三氏もここまで開発されるとおっしゃられたかどうか」

これらのオープンが関西の起爆剤となることを期待しています!



～VEC関西より～

◆先日、我が家の近く山科毘沙門を散歩しました。紅葉が太陽に輝きとてもきれいでした。でも面白いことに気がつきました。南側から紅葉を見ると紅葉で真っ赤に染まっているのですが北側から見るとまだ、緑が残り、まだらに見えます。より寒くなる北側から紅葉が始まるように感じていたのですが太陽に照らされている、より暖かい南側から紅葉が始まるのが不思議に感じました。やはり思い込みはいけませんね。(本田)

♥今年も1年、皆様には色々とお世話になり本当に有難うございました。来年も頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。(藤本)

♥今年もお世話になりありがとうございました。新しい年が皆様にとって佳き年となりますように・・・。(濱本)

◆今年も1年間、皆様から多大のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。お陰様で着実にステップアップすることが出来ました。来年もお役に立てるVECを目指して行動して行きたいと思っております。何卒引き続きよろしくお願い申し上げます。(澤村)

<交流会の予定>

1月は例年どおり開催はございません。

☎:06-6263-0366

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております!